



【読書】キャラクター「おっほん」

おっほんシート

札幌市立新琴似北小学校

読書センターとしての機能

■お昼の読書「しっとりタイム」

昼休み終了後から5時間目に入る前に、10分間の読書時間「しっとりタイム」を設けています。この時間を通して、本に親しむ気持ちや物語の面白さを知る機会を作っています。

また、午後の学習に入る前に「読書」を行うことで、気持ちを落ち着かせたり、学習に向かう集中を高めたりすることにも繋がっています。



■図書委員会による「読み聞かせ」

図書委員会の活動で、読み聞かせを行っています。1年生の教室に行き、図書室で選んだ絵本を読み聞かせたり、お昼の「しっとりタイム」の時間に放送で読み聞かせを流したりしています。

図書室にある本に興味をもってもらったり、普段読まない本に親しんでもらうきっかけになればというねらいで取り組んでいます。



学習センター・情報センターとしての機能

■国語科「民話・昔話を紹介しよう」

国語科「さんねんとうげ」の学習の言語活動として、自分で選んだ昔話を読み、おもしろさを紹介する活動を行いました。

その際に、図書室で昔話の絵本を探して、自分の興味のあるお話を選び、紹介ポスターを作りました。



■総合的な学習の取組「食べ物のひみつ教えます」

国語科「すがたをかえる大豆」の学習から派生して、総合的な学習の取組で、自分で一つ食材選び、どんなすがたに変わるのかを調べました。

情報を調べるツールの一つとして、図書室にある関連本を使用し、より詳しく情報を集めることを行いました。

様々な情報を自分で取捨選択し、分かりやすく説明する力を伸ばすために、繰り返し読み返しやすい「本」は、重要な情報源となっています。

